

取扱説明書

日立浅深両用ポンプ用

標準ジェット

HITACHI
Inspire the Next

J15-7Y形・J25-7Y形・J40-7Y形・J75-7Y形

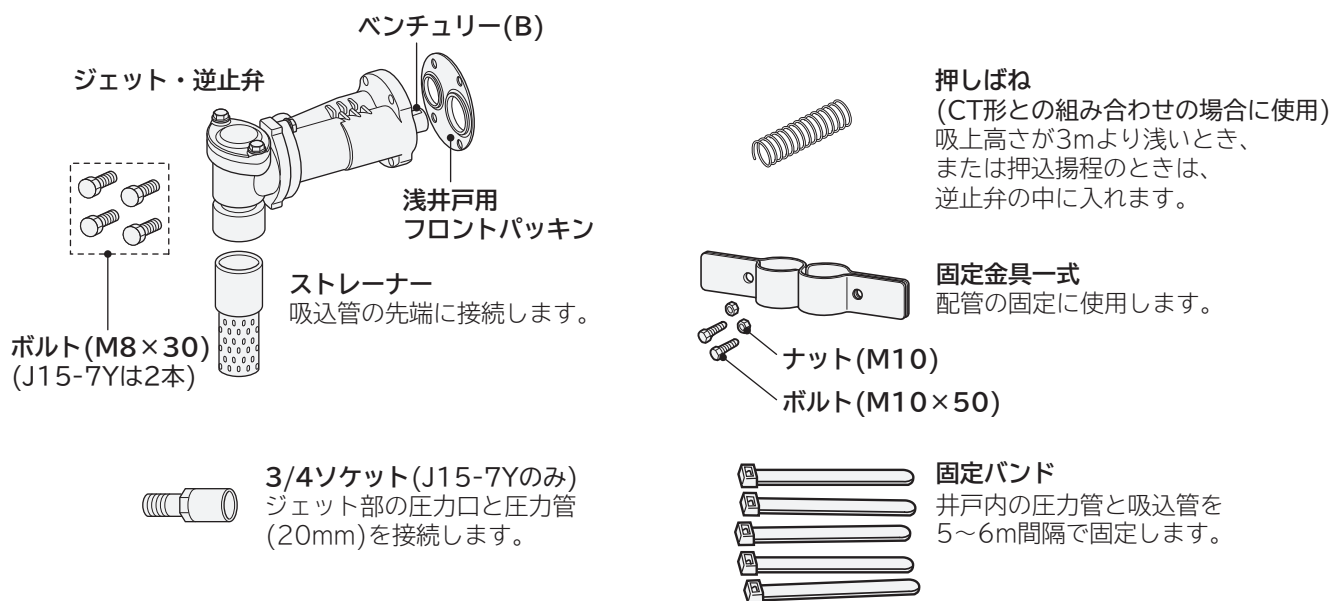
このたびは標準ジェットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

お買い上げの部品は、「日立浅深両用ポンプ」と組み合わせて使用していただくものです。

●据え付けは専門工事が必要です。販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。

●この説明書は、ポンプ本体に付属している説明書とともに大切に保存してください。

部品の名称と使いかた



据付工事について（販売店様・工事店様用）

据え付け前の確認

「ポンプ」と「標準ジェット」の組み合わせ確認

下表の組み合わせであることを確認してください。

ジェット型式	ポンプ型式	
	Y、X形	W形以前
J15-7Y	CT-P150	CT-P150
J25-7Y	CT-P250、CT-K250、CM-P250	CT-P250、CT-K250
J40-7Y	CT-P400、CM-P400、C-P400	CT-P400、CT-P600、C-P400
J75-7Y	CT-P600、CT-K750、CM-P600、CM-K750、C-K750	CT-K750、C-K750

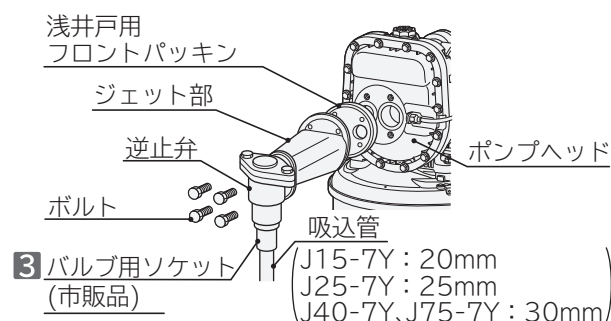
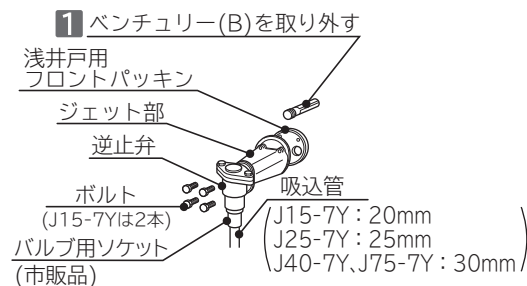
※ Y、X形ポンプ(非自動を除く)とY形ジェットを組み合わせた場合の吸上高さ：押込揚程2m～吸上高さ7m
非自動ポンプまたはW形以前のポンプとY形ジェットを組み合わせた場合の吸上高さ：押込揚程2m～吸上高さ6m

配管工事について

吸上げ高さによって施工方法が異なります。
現在お使いの吸上げ高さをご確認ください。

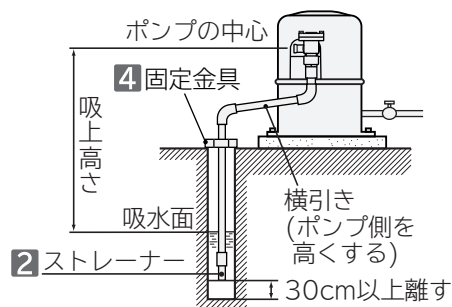
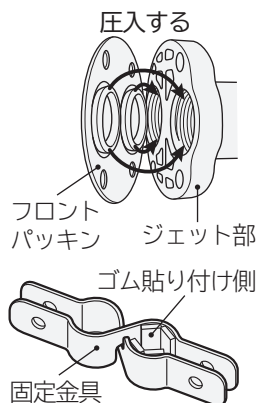
吸上高さが7m以内のとき

- 1 バンチュリー(B)を取り外してください
- 2 吸込管の先端にストレーナー(ジェット部品に付属)を取り付ける
- 3 ジェットにバルブ用ソケット(市販品)をねじ込み、吸込管を接続する
- 4 固定金具(ジェット部品に付属)を取り付ける
(配管質量がポンプに加わらないようにする)
固定金具を取り付けないと、配管質量によりポンプが傾き、水平に設置できません。



ご注意

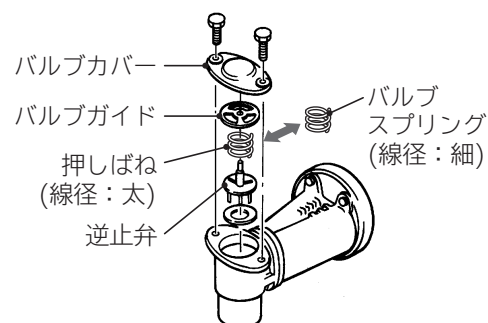
- 水封性・作業性向上のためフロントパッキン(ジェット部品に付属)の突部をジェット部に圧入後、作業を行ってください。
- J15-7Y、J25-7Yに固定金具を取り付ける場合は、ゴム貼り付け側で吸込管を固定してください。取り付け向きを間違えると配管を固定することができません。



■吸上高さが3mより浅いとき、または押込揚程のときは、逆止弁の中にあるバルブスプリング(線径：細)を標準ジェット付属品の押しばね(線径：太)と入れ換える
自動空気補給装置および逆止弁の働きを安定させます。

ご注意

- 押しばね(線径：太)の抵抗により揚水量が減少しますが、異常ではありません。
- J15-7Yにはバルブスプリング(線径：細)はありません。
- 取り外したバルブスプリング(線径：細)は大切に保管してください。井戸水位が下がるなど、吸上高さが3mより深くなる場合は、再度バルブスプリング(線径：細)に入れ換えてください。



吸上高さが7～12mのとき

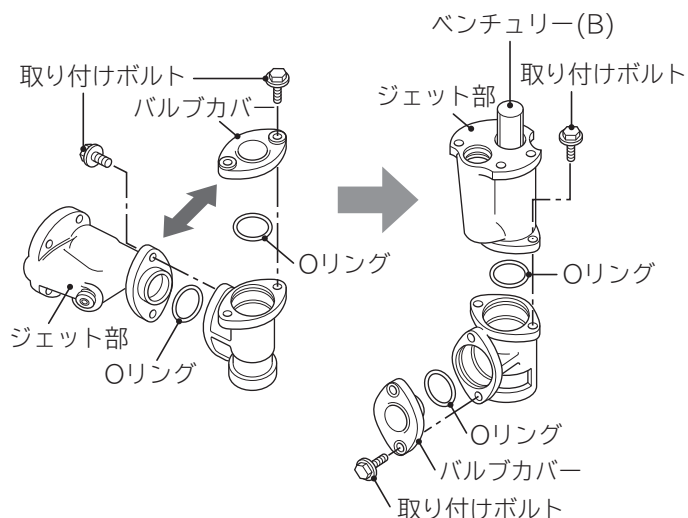
■標準ジェットの組換え

標準ジェットを7～12mの深井戸で使用する場合は、以下の手順で「深井戸用」に組換えてください。

- 1 標準ジェットに付属の取り付けボルト、バルブカバー、Oリング、ジェット部を取り外す
- 2 バルブカバーとジェット部を入替え、取り付けボルトで固定する
Oリングの付け忘れにご注意ください。

●注意

ベンチュリー(B)は取り外さないでください。
水が出ないなどの不具合の原因になります。

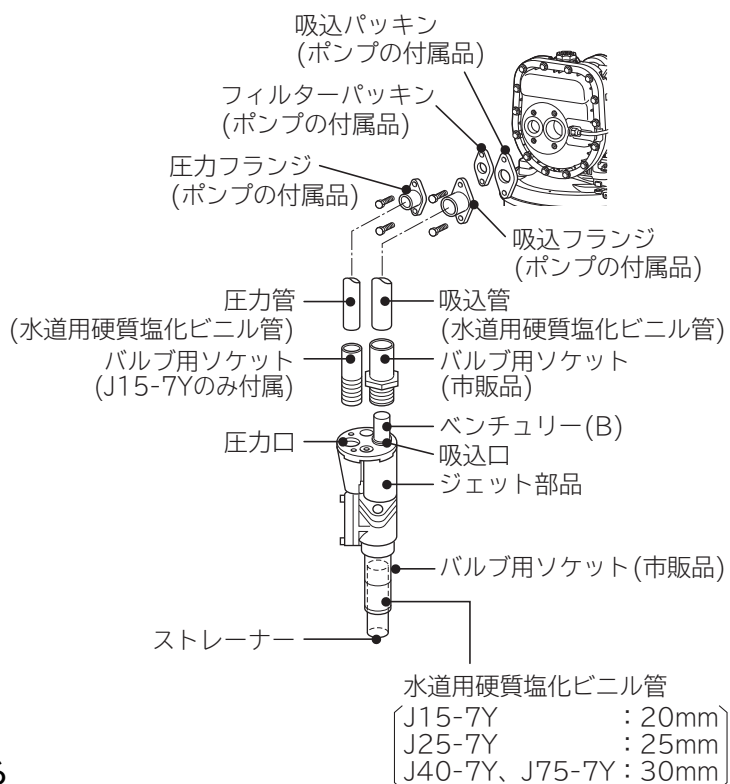
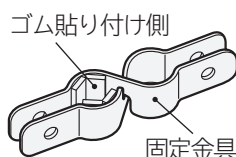


■据え付け方法

- 1 市販品のバルブ用ソケット、水道用硬質塩化ビニル管を使用し、標準ジェットの先端に付属のストレーナーを取り付ける
- 2 市販品のバルブ用ソケット、圧力管(水道用硬質塩化ビニル管)をジェット部の圧力口に取り付ける
[J15-7Yは標準ジェットに付属のバルブ用ソケットを使用する]
- 3 市販品のバルブ用ソケット、吸込管(水道用硬質塩化ビニル管)をジェット部の吸込口に取り付ける
- 4 市販品のバルブ用ソケットを使用し、吸込管を吸込フランジに取り付ける
- 5 市販品のバルブ用ソケットを使用し、圧力管を圧力フランジに取り付ける
- 6 ポンプ本体に吸込フランジ、吸込パッキン、圧力フランジ、フィルターパッキンを取り付ける
- 7 固定金具(ジェット部品に付属)を取り付ける(配管質量がポンプに加わらないようにする)
固定金具を取り付けないと、配管質量によりポンプが傾き、水平に設置できません。

●注意

J15-7Y、J25-7Yに固定金具を取り付ける場合は、ゴム貼り付け側で圧力管を固定してください。取り付け向きを間違えると配管を固定することができません。



■吸込管と圧力管の口径

	吸込管	圧力管
J15-7Y	25mm	20mm
J25-7Y		
J40-7Y	30mm	25mm
J75-7Y		

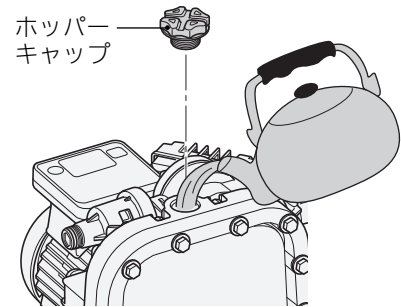
運転について

吸上高さが7m以内のとき

- 1 ホッパーキャップを外し、呼び水を入れる
押込配管のときは、水源から急激に流れ込む場合がありますのでご注意ください。
- 2 ホッパーキャップをしっかりねじ込む
- 3 同時に使う水栓を開く
- 4 電源プラグをコンセントに差し込む
- 5 運転開始後、揚水することを確認する
数分で揚水しない場合は、再び呼び水をしてください。
- 6 耳ざわりの音がする場合は、コントロールバルブの調整ネジをしめ込む

据え付け後、運転のはじめにホッパーキャップを外して呼び水を入れます。

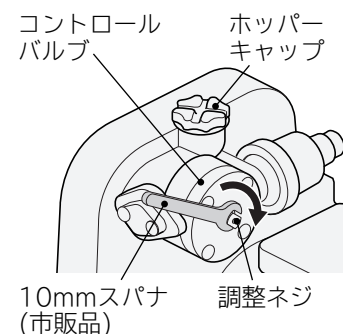
モーター、コントローラー、リアクトルなどの電気部品に水がかからないように注意してください。



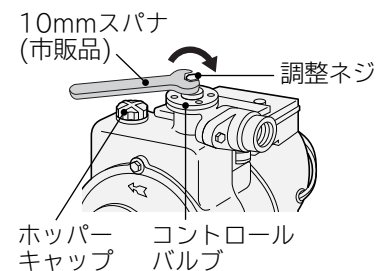
吸上高さが7～12mのとき

- 1 ホッパーキャップを外し、吸込管、圧力管、ポンプヘッド内に呼び水を十分に入れる
- 2 ホッパーキャップをしっかりねじ込む
- 3 コントロールバルブの調整ネジを、ネジ部が隠れる程度までねじ込む
- 4 同時に使う水栓を開く
- 5 電源プラグをコンセントに差し込む
- 6 運転開始後、揚水することを確認する
数分で揚水しない場合は、再び呼び水をしてください。
- 7 コントロールバルブの調整ネジを少しずつ緩め、音が大きくなったら半回転から一回転ほど締め直し、音が静かになる位置に調整する

自動ポンプの場合



非自動ポンプの場合



ご注意

- W形以前のCT-P150にコントロールバルブはありませんので調整は必要ありません。
- 空運転によるポンプの傷みを防ぐため、ポンプに呼び水をしない状態で運転しないでください。
- 電源プラグをコンセントに差し込むと、ポンプは自動的に運転しますので注意してください。

この製品は日本国内用です。海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111